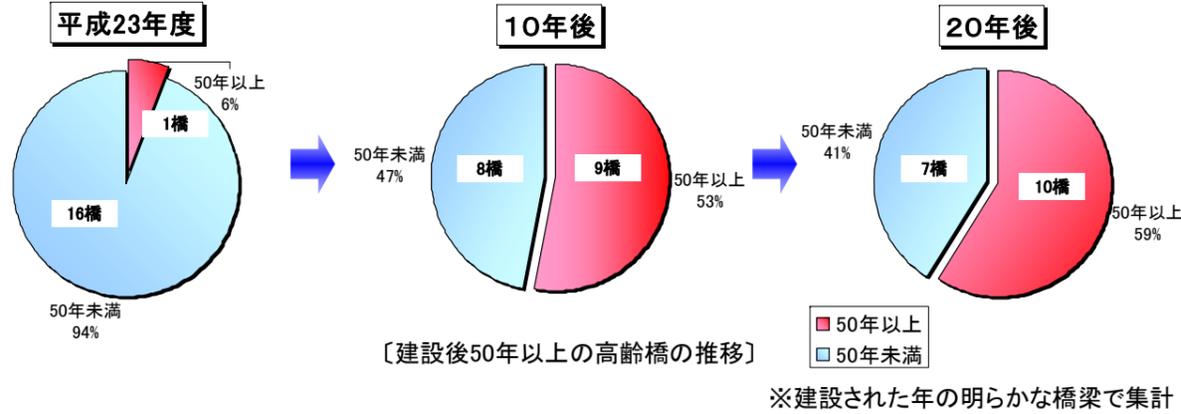


芝山町橋梁長寿命化修繕計画

1 橋梁長寿命化修繕計画の目的

- ◆ 芝山町は現在54橋の橋梁を管理しています。これらの橋梁は今後、老朽化し、更新による財政負担が大きくなる懸念されています。計画的かつ予防的な修繕を行うことで橋梁の長寿命化を図り、予算の平準化と維持管理コストの削減を行うことで、次世代に大きな負担をかけることなく、道路交通の安全性と信頼性を将来にわたり確保することを目的とします。



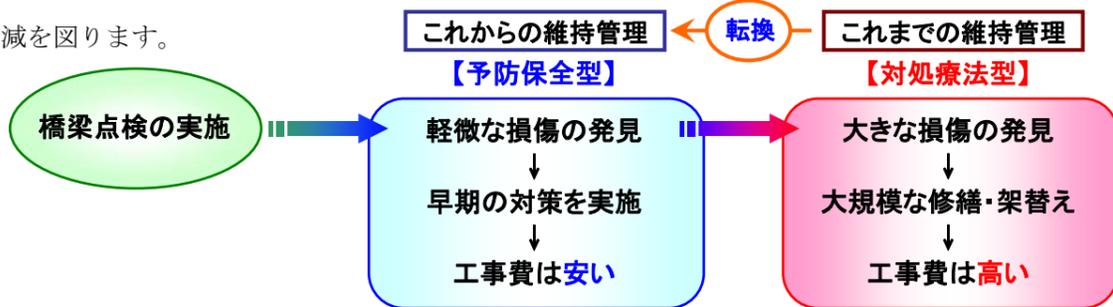
2 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁の内訳は、下表のようになります。

	1級町道	2級町道	その他町道	合計
全管理橋梁数	6	5	43	54
管理する全ての道路橋を対象とする。				

3 橋梁長寿命化修繕計画の内容

- ◆ 芝山町では、平成22年より橋梁点検を行っており、今後も定期的に点検（5年に1度）を行うことで安全の確保に努めていきます。また、日常的で地道な軽作業を行っていくことが、橋梁の長寿命化に対して極めて有効となるため、橋梁点検、損傷に対する修繕等と併せて、橋梁における損傷の進行の予防を目的として、排水ますの清掃等の日常的維持管理の実施に努めます。
- ◆ 点検結果より橋梁の健全性の評価を行い、交差条件や路線の状況に応じて橋梁の重要性を定め、計画的な修繕が行えるよう優先順位を決めます。
- ◆ 橋梁の損傷が深刻化してから大規模な修繕や架替えを行う対処療法的な維持管理から、損傷が深刻化する前に計画的に修繕を行う予防保全的な維持管理へ転換し、橋梁の長寿命化を図るとともに、修繕に係わる費用の削減を図ります。

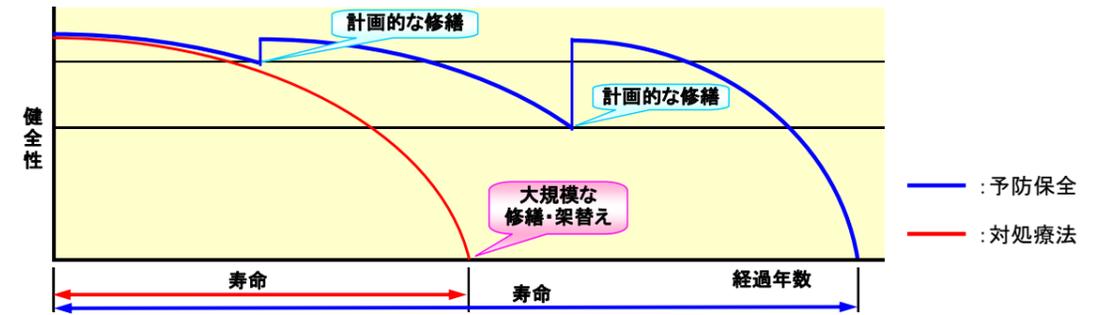


- ◆ 今後、橋梁の維持管理にかかる費用であるライフサイクルコストのシミュレーションを行い、予防保全的な維持管理へ転換した場合の効果を確認します。

4 橋梁長寿命化修繕計画による効果

【橋梁の長寿命化と高い安全性の確保】

- ◆ 計画的に修繕を行う予防保全的な維持管理の橋梁は、大きな損傷が発見されるまで修繕を行わない対処療法的な維持管理より橋梁の長寿命化が図れます。
- ◆ 対処療法的な維持管理では大きな損傷が発見されるまで放置されるため、危険な状態が長期に渡ります。予防保全的な維持管理では早期の対策を実施するため、高い安全性の確保が図れます。



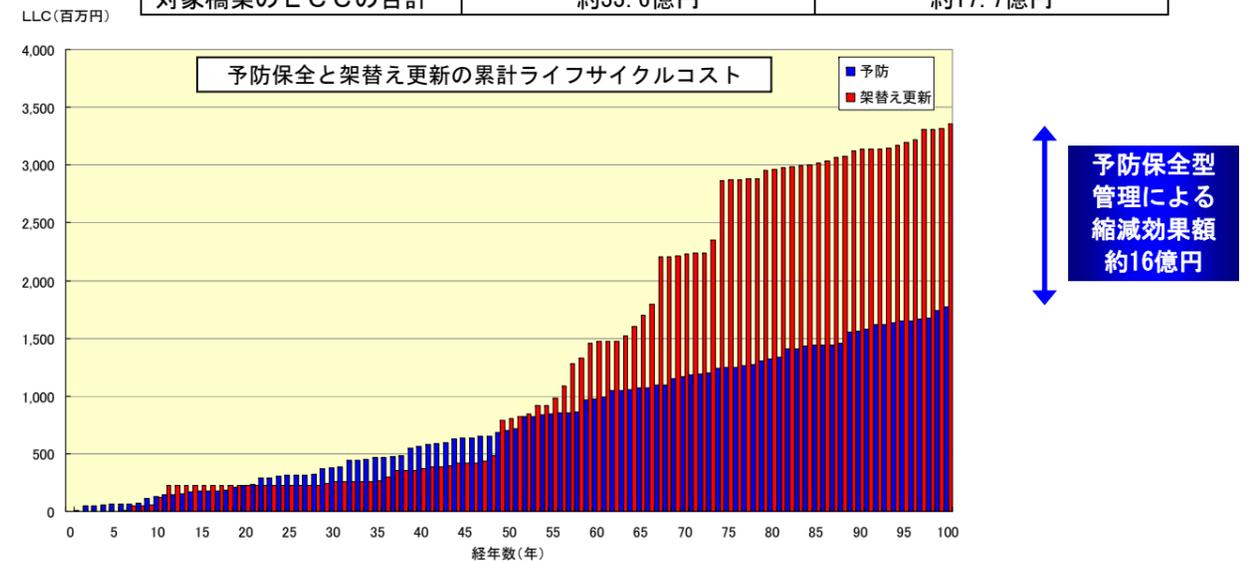
【予算の平準化】

対処療法的な維持管理では大規模な修繕・架替えを行うため、単年度の予算の負担が大きくなります。予防保全的な維持管理を計画的に行うことで、予算の平準化が図れます。

【ライフサイクルコストの削減】

計画的な修繕を行う予防保全的な維持管理は、大規模な修繕や架替えによって工事費が大きくなる対処療法的な維持管理よりもライフサイクルコストの削減が図れます。 → **削減効果額は約16億円となります**

	従来の管理 (架替え更新)	長寿命化修繕計画による管理 (予防保全)
対象橋梁のLCCの合計	約33.6億円	約17.7億円



5 計画策定担当部署とご意見を頂いた学識経験者

計画策定担当部署

芝山町まちづくり課 TEL 0479-77-3910

学識経験者

日本大学 理工学部
博士(工学) 峯岸 邦夫 准教授